

# 留萌川流域治水プロジェクト【位置図】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

【案】

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、留萌川水系においても急激な水位上昇による被害軽減のための水田等の貯留機能有効活用に向けた調整等や避難等の対策を含む事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、留萌川流域で甚大な被害が発生した戦後第2位の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和63年8月洪水と同規模の洪水を下流市街部では安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・導流堤改築、河道掘削 等
- ・砂防関係施設の整備
- ・農業用排水施設及び農用地整備等
- ・水田等の貯留機能有効活用に向けた調整等
- ・留萌ダムにおける事前放流等の実施、体制構築等
- ・農地防災ダムの機能保全
- ・森林整備等
- ・治山対策

## ■被害範囲を減少させるための対策

- ・ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

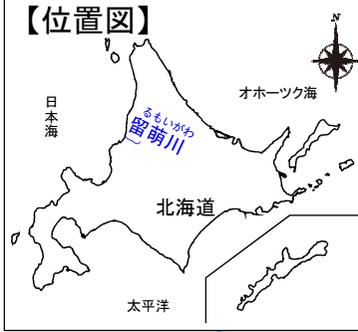
## ■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係機関で連携した避難場所等整備検討
- ・関係機関による流域タイムラインの作成
- ・防災教育等の実施
- ・水防意識啓発のための広報の充実
- ・ハザードマップ等の作成更新と利用促進 (水災害リスク情報空白地の解消に向けた取り組み)
- ・土地等の購入にあたっての水災害リスク情報の提供
- ・支援および受援活用の強化
- ・マイ・タイムラインの作成
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進等
- ・自主防災組織の充実、強化
- ・防災情報伝達手段の整備検討、充実
- ・排水作業準備計画の作成
- ・防災気象情報の利活用促進 等



※イメージ  
市街地等を土石流から守る砂防関係施設の設置 (留萌振興局)



【位置図】



水田の貯留機能確保のための農地整備 (留萌振興局、留萌市)



マイ・タイムラインの作成 (留萌市)



凡例

- 浸水範囲(下流市街部:S63年8月洪水 中上流部:S56年8月洪水)
- 市街地
- 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 留萌川流域治水プロジェクト【位置図】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

- 流域の大部分が山地で占められる留萌川は自然の軸、緑の帯として地域の自然環境の基盤を形成しているほか、豊かな水辺の生態系や連続する緑のコリドーとして、生物の貴重な生息・生育環境を提供している他、河川を横断する構造物がなく、水際まで植生が繁茂する自然的景観を有する箇所も多いことから、魚類等の生息しやすい河川である。
- 留萌川はサクラマス等の魚類や鳥類が自然環境で着目すべき種とされており、生物種の生息・生育環境に留意し、今後約9年間で瀬、淵などの再生によりこれら生態系に必要な生息・生育環境への影響軽減を図るなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

## ●グリーンインフラの取り組み 『地域の自然環境の基盤を形成している留萌川水系の生態系に必要な瀬・淵などの再生』

### ■グリーンインフラメニュー

#### ●治水対策における多自然川づくり

- ・瀬、淵等に配慮した河道掘削の実施
- ・魚類や鳥類の生息・生育環境の保全

#### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小学校などにおける河川環境学習(幌糠水辺の楽校)
- ・河川協力団体によるやまべの稚魚放流

#### 【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。
- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る(かわたびほっかいどう)。



凡例	
	治水メニュー
	市街地
	国道
	高規格幹線道路
	JR線
	大臣管理区間



干潟の保全イメージ



魚類や鳥類の生息・生育環境を保全

河道掘削

やまべの稚魚放流

留萌川圏域  
河川整備

幌糠水辺の楽校  
河川環境学習

河道掘削等

魚類や鳥類の生息・生育環境の保全

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 留萌川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

【案】

●留萌川水系では、流域全体を俯瞰し、国、道、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進し、合わせて、水位上昇が早く速やかな避難対応等が必要となる流域の特性を踏まえ、関係機関で連携した避難場所等整備検討、流域タイムラインを作成し、迅速かつ確実な広域防災連携にむけた体制作りを実施。

【短期】 下流市街部等での浸水被害を軽減するため、導流堤改築等を推進。

【中期】 導流堤改築、河道掘削を実施し、下流市街部等での浸水被害を軽減させるとともに留萌川中上流部の河道掘削等を実施。

【中長期】 留萌川中上流部での浸水被害を軽減させるため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下流市街部域の被害を軽減する導流堤改築・河道掘削等	留萌開発建設部	導流堤改築 → 河道掘削等		
	留萌川中上流部の被害を軽減する河道掘削等	留萌開発建設部	河道掘削等		
	タルマップ川流域の被害を軽減する河道掘削	留萌振興局	河道掘削等		
	市街地等を土石流から守る砂防関係施設の整備	留萌振興局	砂防関係施設の整備		
	湛水被害を軽減し、機能を守る農業用排水施設及び農用地整備等	留萌振興局、留萌市	農業用排水施設および農用地整備		
	森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備等	留萌振興局、留萌市等、留萌南部森林管理署	植栽・間伐等の森林整備		
	山地災害から流域を守る土砂災害対策	留萌振興局、留萌南部森林管理署	治山施設等の整備		
被害範囲を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討	留萌開発建設部	連携した避難場所等の整備検討		
	ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討	留萌市	避難場所等整備(着手) (河道掘削土砂を利用)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	関係機関で連携した避難場所等整備検討	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市	連携した避難場所等の整備検討		
	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成促進等	留萌市	流域タイムラインの作成		
	被害軽減対策	留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、旭川地方気象台	流域タイムラインに基づく広域防災連携		
グリーンインフラの取り組み	瀬、淵等に配慮した河道掘削の実施、魚類や鳥類の生息・生育環境の保全	留萌開発建設部、留萌振興局	瀬、淵等に配慮した河道掘削の実施 魚類や鳥類の生息・生育環境の保全		
	小学校などにおける河川環境学習(幌糠水辺の楽校)、河川協力団体によるやまべの稚魚放流	留萌開発建設部	小学校などにおける河川環境学習(幌糠水辺の楽校) 河川協力団体によるやまべの稚魚放流		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗等によって変更となる場合がある

# 【案】 留萌川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

第5回留萌川  
流域治水協議会資料

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

○市街地下流地区における河口部改修(導流堤、河道掘削)を推進することで、留萌市街地の治水安全度の向上に寄与

## 実施箇所・対策内容

①市街地下流地区  
河口部改修L=0.38km

①市街地下流地区  
河口部改修L=0.17km

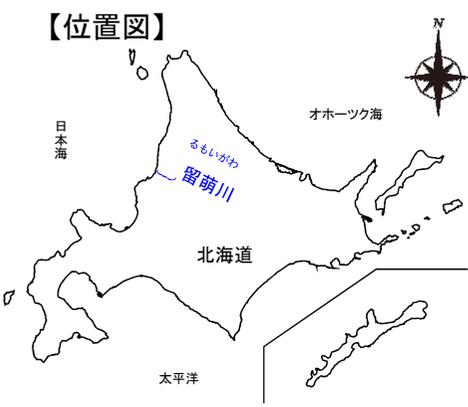
**短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約34%→約52%**

②川北右岸～大和田地区  
河道掘削V=300(km<sup>3</sup>)

留萌川  
下流市街部      留萌川  
中上流部

③藤山左岸～峠下地区  
河道掘削等樹木管理L=6.6km

5カ年加速化メニュー:赤字  
整備計画残メニュー:緑字

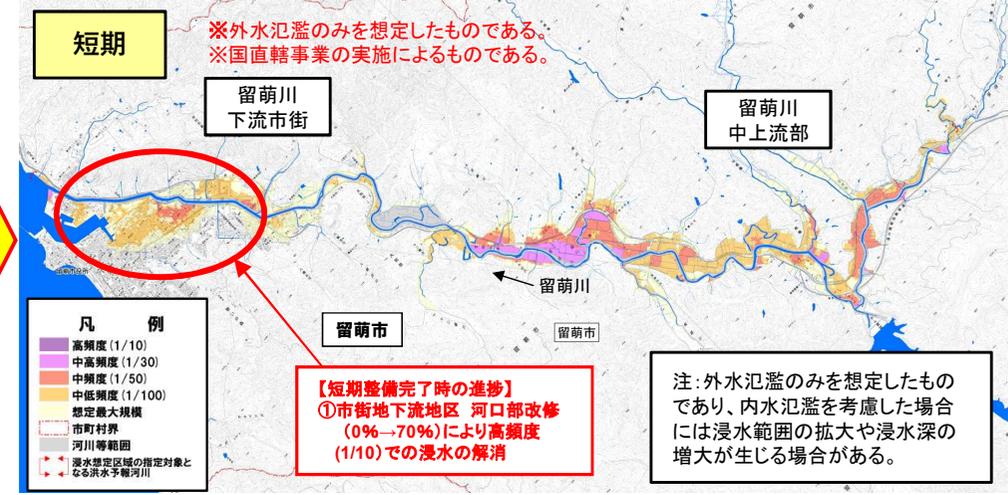
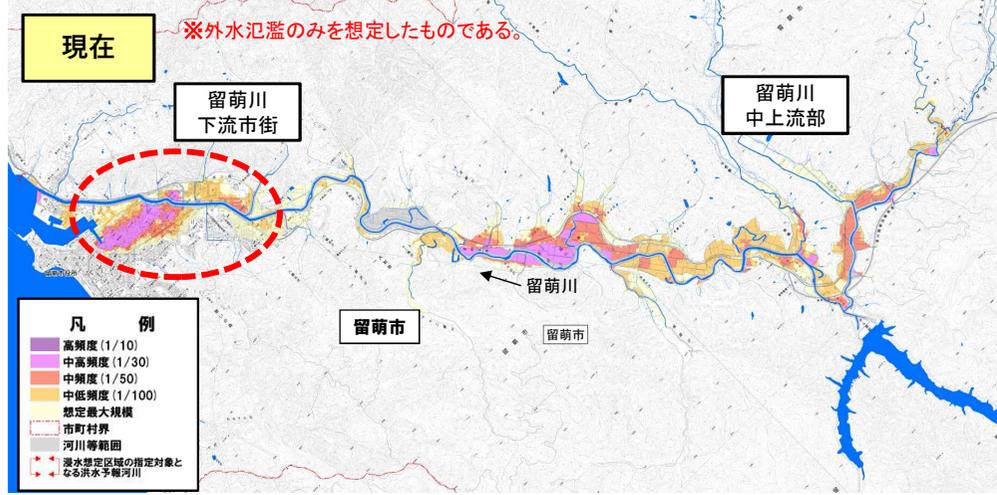


【河川整備率 約34%→約52%】

区分	対策内容	区間	工程	
			短期(R3~R7年) 1/15~1/35*	中期(R8~R10年) 1/35~1/60*
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河口部改修 8%→100%	①地区 (市街地下流)	70%	100%
	河道掘削等 3%→100%	②地区 (川北右岸～大和田)		100%
	河道掘削等 56%→100%	③地区 (藤山左岸～峠下)		100%

**【短期整備完了時の進捗】**  
①市街地下流地区 河口部改修 70%

\*大田和基準地点における安全度



**【短期整備完了時の進捗】**  
①市街地下流地区 河口部改修  
(0%→70%)により高頻度  
(1/10)での浸水の解消

注:外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

各指標:確認中

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した  
河川の整備率



整備率 52%

(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



〇〇市町村

(令和3年度末時点)

流出抑制対策の実施



〇〇施設

(令和3年3月末時点)

山地の保水機能向上・  
土砂・流木対策



治山対策・森林整備

〇〇箇所

(令和3年度末時点)

砂防事業による保全箇所

〇〇施設

(令和3年末時点)

立地適正化計画における  
防災指針の作成



〇〇市町村

(令和3年12月末時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定

1河川

(令和3年12月末時点)

内水浸水想定

〇〇団体

(令和3年11月末時点)

高齢者等避難の実  
効性の確保



避難確保計画

39施設

(令和3年9月末時点)

個別避難計画

1市町村

(令和4年1月時点)

## 被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 導流堤改築、河道掘削

(留萌開発建設部)



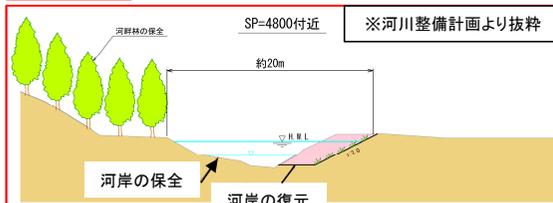
※イメージ

平成30年7月の豪雨により  
浸水被害が発生したこと  
からタルマップ川において  
L=9.5km区間の河道掘削。

R3年度は工事のための調  
査を実施。



### 河道掘削 (留萌振興局)



## 被害対象を減少させるための対策

### (現況)リスクマップ



### (短期)リスクマップ



### まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

〇まちづくり、防災計画等にむけて、リスクマップの説明、  
意見交換会などを実施。  
さらに情報提供を充実させ、取組等を推進する。

### ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討

〇新たな公共施設の整備にむけた立地場所などの協議に  
ハザード情報を活用

※(留萌市公共施設整備検討会議 より: R3)  
今後、水害リスクマップ等も活用



※「浸水ナビ」による最大浸水想定イメージ

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

※留萌川中上流部



### 関係機関で連携した避難場所等整備検討

〇特に留萌川の中上流部は、ほぼ全域にわたって浸水域となる  
ことから、河道掘削等で発生する土砂も活用し、避難場所等を安  
全に確保するために関係機関で連携して検討する。

### 関係機関による流域タイムラインの作成

〇山地に挟まれた地形を流下するため、洪水時は流域の水位  
上昇が非常に早く、早期に避難困難な水深に達する恐れがあ  
る。関係機関で連携して、迅速、確実な避難行動、社会経済被  
害の最小化を図るために流域タイムラインを作成する。



各機関で連携して、タイムラインの充実、発展  
させ、流域タイムラインとする。

# 留萌川流域治水プロジェクト【参考】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

## 事前放流の実施・体制構築等



留萌ダム(留萌開発建設部)

## 農地防災ダムの機能保全



樽真布ダム(留萌市)

## 砂防関係施設の整備 (留萌振興局)

※イメージ



## 農地防災ダムの機能保全



中幌ダム(留萌市)

## 農業用排水施設及び農用地整備 (留萌振興局)



水田の貯留機能確保のための農地整備  
(留萌振興局、留萌市)

## 森林整備等 (北海道森林管理局、留萌振興局、留萌市等)



間伐により光環境を改善し、森林機能の回復を図る。

## まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

例:水害リスクマップ(現況)



例:水害リスクマップ(短期)



事業進捗等を踏まえて発生頻度等に応じた情報を提供(留萌開発建設部)

ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討(留萌市)

## 治山対策 (留萌振興局、北海道森林管理局)

※イメージ



# 留萌川流域治水プロジェクト【参考】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

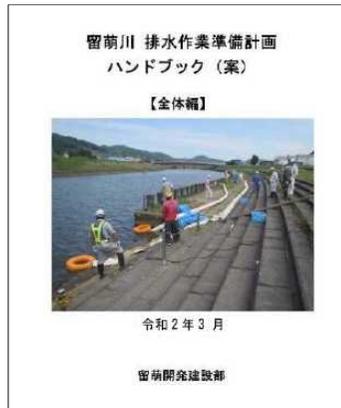
## 関係機関による流域タイムラインの作成

台風発生	国土交通省	誰が	交通サービス	市町村	住民
台風上陸の可能性	○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制が	運行停止の可能性を早めに周知	避難の可能性を早めに周知	避難の可能性を早めに周知
災害発生の可能性	○台風に備える記者会見 ○特別警戒発令の可能性	○避難体制等の確認 ○協力機種の体制確認	○交通サービス ○運行停止予告	○避難体制の確認・周知	○防災用品の準備
いつ	早期復旧・再開が可能となるように施設保全・待避	○エレベーターの運送	○運行停止・再開の確認・公表	○避難指示・指示	○避難の開始
台風接近	○大雨・暴風・高潮等 ○特別警戒	○所管施設の点検	○何をするか	○避難指示・指示	○避難の開始
台風上陸	○避難発生情報	○市町村長へ事後検証 状況の伝達	○避難指示・指示	○避難指示・指示	○避難の開始
	○避難発生情報	○TEC-FORCE活動 (浸水監視等) ○浸水状況の把握 ○緊急輸送路の確保	○浸水状況の把握 ○浸水状況の公表	○支援の要請	○避難の開始

イメージ 国交省HPより

(留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市)

## 排水作業準備計画の作成



令和2年3月

留萌開発建設部

留萌開発建設部 作成(更新)

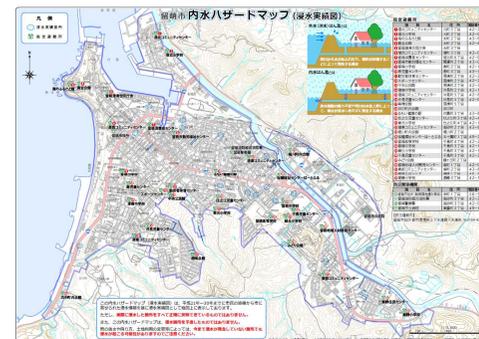
## 防災教育等の実施



(留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市)

## ハザードマップ等の作成更新と利用促進

(内水氾濫ハザードマップ) 留萌市



## マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムライン作成ワークショップ(留萌市)



マイ・タイムライン作成シート(留萌市)

(留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市)



関係機関で連携した排水訓練

## 水防意識啓発のための広報の充実



HP、広報誌などを活用(例:留萌市HP)

(留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市)

## ハザードマップ等の作成更新と利用促進

(まるとまちごとハザードマップ)



実際に昭和63年8月に洪水時は浸水している。

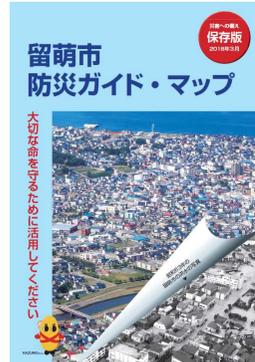
高砂町 高砂公園前 街路灯柱

(留萌市)

## 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 (留萌市)



## ハザードマップ等の作成更新と利用促進



(留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市)

## 防災情報伝達手段の整備検討・充実

ヤフー株式会社との協定締結による  
プッシュ型防災情報配信の開始

○ヤフー株式会社と防災協定を締結、専用アプリを通じて、市からの避難情報・防災関連情報のプッシュ型配信を可能とした。



(留萌市)